

公 表
-----

## 第 54 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

### 1. 競技時間

標準時間 10 時間 00 分

- ・モジュール 1=6 時間 30 分
- ・モジュール 2=3 時間 30 分

打切り時間 10 時間 10 分

※ 休息時間 30 分間含まれず

### 2. 作業説明

別紙 1 のとおり

### 3. 仕 様（モジュール別、指示事項）

別紙 2 のとおり

### 4. 注意事項・支給材料及び工具

別紙 3 のとおり

(別紙 1)

## 作 業 説 明

1. 総作業時間は 10 時間とする。(休息时间 30 分は別途とする)
2. 課題の作成はモジュール形式とする。2 工程に分割した作業を決められた時間内に行うこと。
3. 作業台及び作業エリアは常に整理整頓すること。
4. 使用工具、工法は指示事項を除き、自由選択とする。スケール、差し金等、計測用具は J I S 規格品とする。
5. 支給された材料を確認すること。異状のあるときは競技スタート前に申し出ること。
6. 持参工具の展開は会場下見の時に行う。(付添人も可)
7. 引き型は図面寸法を採用する。
8. モールディング貼り付け材料は自由とする。ビス止め併用可。(有機接着剤は禁止)
9. 貼り付けたモールディングと壁の間は、すき間なく仕上げること。
10. 置引き作業時の引き型洗水の容器、容量は最小限度にとどめること。
11. 石膏ボード切断、加工及び置引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。板を足したり、持ち込みは不可とする。
12. 軽量鉄骨加工取付け及び石膏ボード切断時は安全のため保護用手袋を着用すること。
13. 課題の下地は平ボードとする。寸法は 1,820×1,820 とする。
14. 作業エリアの床養生は主催者側で行います。
15. モールディング A・B の切断は箱定木(留め型)の使用を可とするが、指定寸法に合わせ、両側を切断できるように作成した箱定規は禁止する。  
モールディング C は作業台に切断墨を記した後、フリーハンドで切断すること。
16. 正面壁の両側面と天場部はコーナー定木を取付けて終了とする。塗り作業は行わない。
17. 踏み台の上で作業をするときは、支給したヘルメットを着用すること。

(別紙2)

## 仕 様 (モジュール別、作業内容と説明)

### モジュール1

施 工 日 : 1 日 目「10 月 22 日 (土)」

施工時間 : 6 時間 30 分 (8 : 50~12 : 00) (13 : 00~16 : 40)

(午前・午後、休息時間を 10 分間取ること)

**作業内容 :** 各種墨出し作業を行う。袖壁部は図面にに基づき、軽量鉄骨を組み立て、石膏ボードを切断加工して正面壁に取り付ける。  
出角部はコーナー定木を指定個所に取り付ける。  
厚塗り部は U トップを用いて中塗りを行う。  
作製した引型を用いて置引き作業を行う。できあがったモールディングを切断加工する。

**作業説明 :** 中心墨、陸墨は各自で出すこと。陸墨は課題中心部の床から 1,000 mm 上がりの位置とする。中心墨はボード幅(1,820 mm)の中心とする。  
モールディング取付け墨は時間内に終了すること。

- ・ 袖壁部の軽量鉄骨組立ては同じものを 2 つ作成して取り付けること。一つ目はランナ、スタットの部材を正面壁に一本ずつ取り付けること。  
二つ目は作業台で組み立てた後、取り付けてもよい。
- ・ 軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビス間隔は 200 mm 以内とする。
- ・ 厚塗り部の出角は U トップを用いて埋め込み定木を固定する。
- ・ 薄塗り部の出角は薄塗用コーナーテープを接着テープで貼るか、マリンライムを用いて取り付けるか何れかの方法で固定する。
- ・ 仕上がったモールディングは指定寸法に切断加工して取り付けができる状態にすること。
- ・ 置引きの下地に使用する発泡スチロール (1,820×450×10) を支給。  
必要であれば使用する。(持込み不可)
- ・ モールディング A. B. C の引き型は現地で支給する方眼紙と鉄板を用いて作製後、持参した木型に取付け完成させること。
- ・ 引き型は 1 日目の作業終了後、すべて提出すること。

## モジュール2

**施 工 日**：2 日目「10 月 23 日（日）」

**施工時間**：3 時間 30 分（午前 8：50～12：30）

（休息時間を 10 分間取ること）

**作業内容**：壁面上塗りとモールディングの貼り付け、接合部の補修作業。

モールディング C 内の着色漆喰、鍍塗りスタッコ、ヘッドカット仕上げ。

**作業説明**：・壁面は支給した上塗り材を用いて金鍍仕上げとする。

- ・前日作成した、モールディング A・B・C を指定寸法に貼り付け、接合部は焼き石膏を充填して角部を正確に仕上げる。
- ・貼り付けたモールディング A の天場部の補修は不用とする。
- ・貼り付けたモールディング C の内壁は支給した漆喰材料に持参した着色剤を混ぜて鍍塗りスタッコ、ヘッドカット仕上げとする。
- ・着色は自由とする。

(別紙3)

### 注意事項

- 1.競技中、工具の貸し借りは禁止する。
- 2.電動工具（丸ノコ）の使用を禁止する。充電ドライバーの使用は可。
- 3.安全規則を守ること。ケガをした者は競技委員で協議のうえ対応を決定します。
- 4.休憩時間及び作業終了後は速やかに参加票を提出する。
- 5.作業台は型枠用として市販されている樹脂合板を使用する。（1,800×900×12）
- 6.置き引きに使用するアルミ製定規は支給するので持ち込み不可。墨出し、その他に使用する定木は持ち込み可とする。

（あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は禁止する）

- 7.軽量鉄骨組み立てに使用するビスは各自持参すること。
- 8.支給したランナは各自切断、加工して使用すること。
- 9.スタット固定用のスペーサは使用、不使用どちらでも可。使用するときは持参する。
- 10.モジュール1及び2で使用する塗り材は当日係員が支給する。
- 11.すべての作業において型板、型紙の使用を禁止する。
- 12.時間超過及び仕様誤り、作業説明、注意事項違反をした場合は減点の対象とする。

### 支給材料・工具・部材

番号	品名	規格	数量	備考
1	鉄板	450mm×150mm×0.4mm	1枚	引き型作成用
2	ミニ万力		1台	持参してもよい
3	焼き石膏	吉野石膏販売(株)桜印焼石膏 A級25kg入り	2袋	桜印とタイガー印同製品
4	Uトップ	吉野石膏(株)既調合中塗り材	適量	コーナー定木取付けと中塗り
5	マリンライム	村樫の既調合漆喰上塗り材 (青ラベル)	適量	コーナー定木取付けと上塗り
6	フクビ化学ニュー ツーウェイコーナ ー定木	ピン角仕上げ7K=1,830mm	5本	厚塗り部の角部に取付け
7	フクビエココー ナーテープ53T	3,000mm	1本	薄塗り部の角部に取付け
8	石膏ボード	1,820mm×910mm×12.5mm	1枚	袖壁作成用
9	アルミ製定木	1,800mm×60mm×25mm	2本	持ち込み不可（置き引き用）
10	ランナ	1,700mm×52mm	1本	袖壁組立て軽量鉄骨材
11	スタット	1,790mm×50mm	4本	〃
12	〃	350mm×50mm	2本	〃
13	発泡スチロール	1,800mm×900mm×10mm	1枚	置引き中込め用
14	取り舟	小	1個	残土用
15	バケツ	18リットル	3個	プラスチック製
16	作業台	1,800mm×900mm	1台	モールドイング作製用
17	置き台	1,800mm×900mm	1台	モールドイング保管用

公 表
-----

## 第 54 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題図

1. 別添 第 54 回技能五輪全国大会「左官」職種競技課題のとおり。

1-1 仕上り全体図及び作業説明図

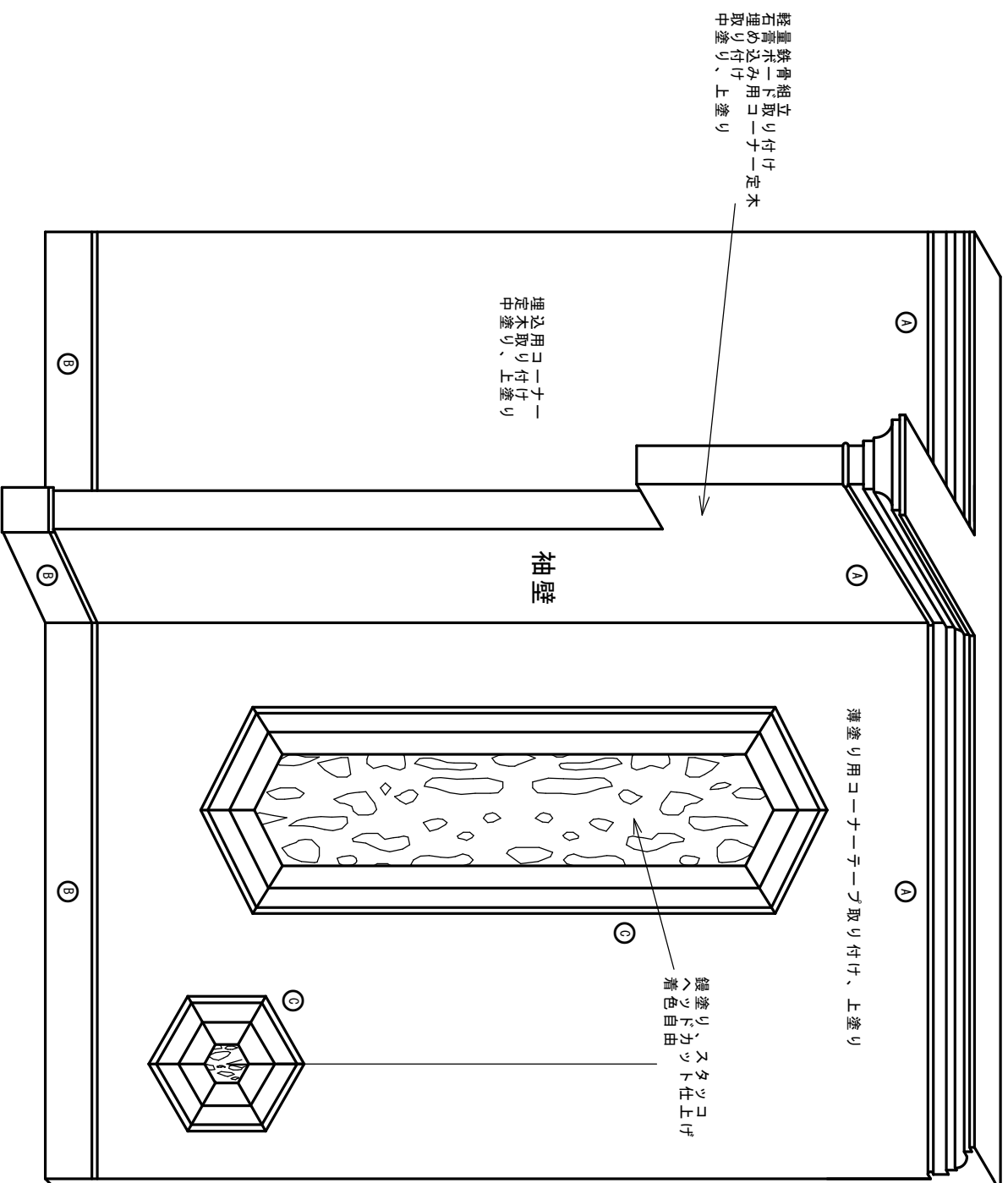
1-2 モジュール 1

正面図及び側面図（下地の構成）

1-3 モジュール 2

正面図及び側面図（仕上り詳細図）

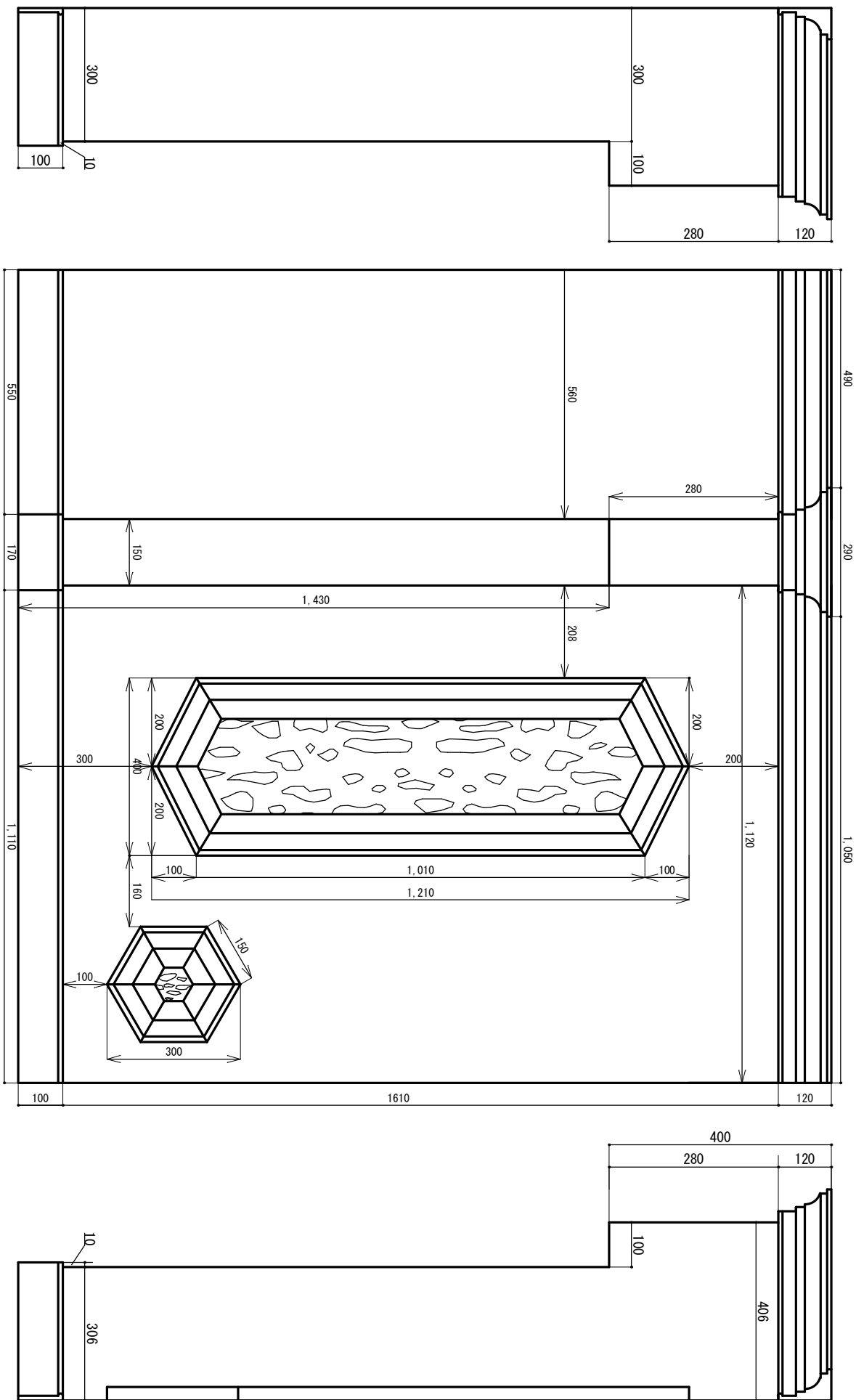
1-4 引き型断面図



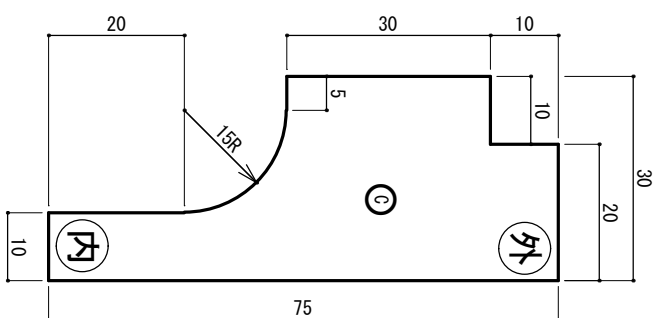
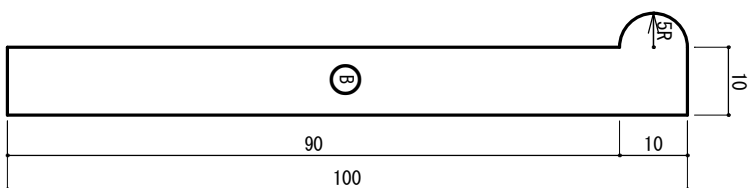
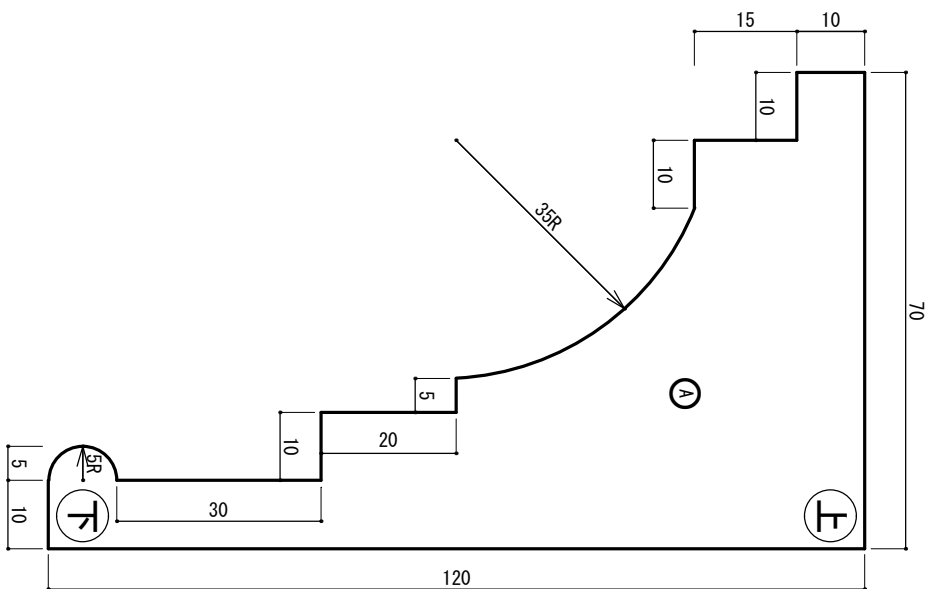
左官職種 1-1 仕上り全体図及び作業説明図







左官職種 1-3 正面図及び側面図（仕上り詳細図）



左官職種 1－4 引き型断面図

公 表
-----

第 54 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番 号	品 名	規 格	数 量	備 考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	制限なし
2	工 具 箱	大きさは 1 m <sup>3</sup> 前後	1 個	
3	モールディング貼付け材		適量	有機接着剤不可
4	着色剤		適量	ヘッドカット部
5	養生テープ	市販品	適量	
6	延長コード	1 0 m	1 本	
7	保護用手袋	市販品	1 個	ボード切断時着用
8	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参する 事

※ 工具箱の大きさは 1 m<sup>3</sup> 前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は協議のうえ減点とする。

公 表

第 54 回技能五輪全国大会左官職種採点基準表

項 目 区 分	採 点 基 準	配 点	
		項 目 配 点	合 計
施 工 法	置 引 き 墨 出 し モジュール1 モジュール2	36.0	36.0
精 度	寸 法 角 度 水 平 度 垂 直 度 平 面 度 接 合 部 引 き 型	47.0	47.0
作業態度	整 理 整 頓 手 ぎ わ 安 全 作 業	7.0	7.0
外 観	外 観	10.0	10.0
減 点	不安全作業 仕様誤り 不良施工 残土 時間超過		
合 計		100	100

## 第54回技能五輪全国大会Q & A

競技主査 高野雅一

Q 1 持参する工具箱の容量が1 m<sup>3</sup>を超えてもよいか。

A 1 第54回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具一覧表のページに工具箱の大きさは1 m<sup>3</sup>前後と明記してあります。著しく大きくなければOKです。）

Q 2 置引きの残土を入れる取舟(小)を使わずに、持参した容器を使用してよいか。

A 2 かまいません。持参して使用して下さい。

Q 3 モールディング加工及び切断補修等に使用するため作成した小型の作業板等を持参してよいか。

A 3 作業説明12「置き引き等の作業は備え付けの作業台を使用すること。」と明記してありますので、持ち込みは不可です。定規等を持参して、競技場の作業台に取付けるなど、現地で作成して下さい。

なお、鉄板加工を作成する作業板は持参してもかまいません。

Q 4 引き型作成用に支給される鉄板の材質は何ですか。

A 4 アルミニウムと亜鉛合金メッキ鋼板にポリエステル樹脂系塗料を焼き付けした0.4 mm厚の塗装合板です。

Q 5 置き引き製作時、引き型と同じ寸法で作製した、かいこみ定規を前後に取付けて作業してよいか。〔置引きを取り外すと留めの部分ができあがっている。〕

A 5 モジュール1の作業説明の中で、すべてのモールディングは焼き石膏、置引き仕上げとする。と明記してあります。留め部分は作製したモールディングを切断して接合、補修して仕上げて下さい。型どおりに作成した定規類をかいこんで仕上げ面を作ることは禁止です。

Q 6 支給した置引き用アルミ定規に穴をあけてよいか。

A 6 穴はあけずに両端を止めて使用して下さい。

Q 7 支給材料、360 mm×50 mmのスタットの寸法が長いように思われるが、どうか。

A 7 袖壁の天場及び下場に取り付けるコーナー定木の塗り厚を7 mmにする事で指定寸法になります。しかし、寸法に余裕を持たせるため、350 mm×50 mmに変更します。

Q 8 モールディングCをフリーハンドで切断するとき、下にスタイロフォームや木製の台を敷いて作業してもよいか。寸法や目モリは入っておりません。

A 8 作業説明に記してあります。作業台の上は何も敷かず作業を行って下さい。

Q 9 中心墨及び陸墨を出すとき水平器、下げふりなどの器工具は使用しなくてもよいか。

A 9 課題中心部の位置を基準に、器工具を使って墨出しを行って下さい。

Q10 壁は上塗り完成後、コーナ一定規の角が見えている状態になるのですか。(コーナ一定規を中塗寸法で入れるのか、仕上寸法で入れるか?)

A10 仕上げ寸法で入れてください。コーナ一定規の角は見える状態にして下さい。

Q11 板金加工の際、板金カッター(ニブラー)を使用しても良いですか。(電動工具ではありません)

A11 使用してもよろしいです。

Q12 引き型の提出は作業終了後となっていますが、作業終了後の提出前に周りに着いている石膏を綺麗に掃除しても良いですか。(作業中はある程度綺麗にしている状態)

A12 作業終了後、掃除をする時間を与えます。その後、提出して下さい。

Q13 上塗りは、コテ押えで良いのですか。(スタッコ以外の部)

A13 コテ押さえです。

Q14 自由課題のスタッコ仕上げにて仕上げ時に、石や葉、ビーズなどの埋め込み又は貼り付けをしても良いでしょうか?

A14 できあがったものを持ち込み使用することは禁止です。

Q15 スタッコ押えの道具は自作の物を使用しても良いでしょうか?

A15 コテで塗り付け、コテで頭を押さえて下さい。

Q16 スタッコ仕上げに於いてデザイン的な型板や型紙を使用し、型抜きにてデザインをしても良いでしょうか?

A16 注意事項に明記してあります。型板、型紙の使用は禁止です。

Q17 モジュール1 墨出しについて

Uトップを用いて中塗りしたところに関しても、中塗りの上に置引の取付墨を出すのでしょうか。

A17 出して下さい。